



# ルーテル学院だより

NO.138  
2019.4.1

<http://www.luther.ac.jp/>

発行 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校  
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20  
TEL:0422-31-4611 FAX:0422-33-6405

発行人 市川 一宏

### 学長挨拶

「私は、ここにいます。」

学長 市川 一宏



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち教職員は、皆さんの学びを支援し、それぞれに成長していくプロセスに立ち合っていきたいと思っています。

私は、昨年の5月に、国連の『世界孤児の日』制定運動の趣旨に賛同いたします。』という文書を執筆しました。文書の背景には、「孤児の母」と

言われた田内千鶴子氏の働きがあります。韓国でもっとも長い歴史をもつ共生園は、1928年、木浦の小川橋の下で寒さに震えている7人の孤児を発見し、家に連れてきて一緒に生活をしましたことから始まりました。田内女史は、一人で共生園を守り、3000人の孤児を育てました。この文書は、「孤児の母」と呼ばれた田内女史の息子であり、「社会福祉法人こころの家族」の理事長である尹基（Tae-chi Mo）氏の国連に孤児の日を制定しようとする行動への応援をするものです。

世界のいたるところで、戦争や内紛テロが起り、たくさんの命が失われています。これらの結果、もっとも弱い状況にある子どもが、大きな被害を受けています。私たちは、神から与えられた子ども一人ひとりに愛情を注

ぎ、家族と死別、離別して一人となった「孤児」が受け入れられ、胸を張って堂々と生きることのできる環境を作

ることを提案しました。人生は、「おめでとう」で始まる。そして、それぞれに生きていく。それぞれに自分らしく生きていく可能性があり、多様性がある。それぞれに目標がある。もし目標がなければ、それをルーテル学院で見つけてほしい。

その際に必要なことは、自分の考え方を伝えること。他者からどう見られているかを非常に気にして、現実努力をしないのに自分で自分について理想を高くしようとする優越コンプレックスを減らしていくことが必要でないでしょうか。劣等感を「客観的な事実」ではなく、他者との比較から生じる「主観的な解釈」だととらえて、その解釈自体を転換し、むしろ自分自身の成長のバネにしていくことを提唱するのが、アドラーで『人生の意味の心理学』に書かれていました。アドラーは、人はだれでも幸福になれる。ありのままの自分を受け入れ、他者貢献・役に立っているという感覚、他者信頼などを図っていくことが大切だと主張しています。

最後に、イザヤ書35章4節に立ち返ります。聖書には「心おののく人々に言え。『雄々しくあれ、恐れるな。見よ、あなたたちの神を。敵を打ち、悪

に報いる神が来られる。神は来て、あなたたちを救われる。』と書かれています。これは、私の恩師の阿部志郎先生から頂いた聖句です。ご自分の戦争体験を通して、何とおろかか。權威に服し、考え、迷いもなく、行動を考え

ず、全く疑わず、恐れず、戦争を起こしたことに後悔している。考え、迷い、自分で選択して決めて欲しいと思われ、この聖句をお示しになりました。様々な困難に追い込まれている人々に、彼らが受けた災いをもたらした者に対する行動を宣言され、言われています。

「雄々しくあれ、恐れるな。見よ、あなたたちの神を。」この言葉は、危機に直面しても、自らが信じることを覚え、自らの力を養え、生きていくための知恵と能力、可能性を身につけるようという神様からのメッセージだと思います。

世界は混乱の中にあります。だからこそ、いかに生きていくか。ありのままの自分を受け止め、自分にはどのような力があり、可能性があり、希望を見失っているとも歩みながら、大切な人との仲直りの仕方を学習しながら、共に生きていくことを学ぶ。

そのような学生生活を送ってほしい。それぞれの「私は、ここにいます」

入学、おめでとう。そして、4年後、一緒に卒業しましょう。

### 学生会 会長 渡部 日菜

（千葉県立佐倉東高等学校出身）

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新生活は不安もあるかもしれませんが、きっとそれ以上のワクワクが待っていますから期待していきましょう。

そんな何かと出会うために私からお願いです。大学生活の間に興味や関心を深め、何かに夢中になって打ち込んでみてください。それは将来きっと大切な経験となり、財産となります。

ルーテルは規模が小さい分、出会いの密度が濃く、肌合合う人もいれば窮屈に感じる人もいるかもしれません。たくさんのお出合いの中であなたが輝ける場所を思いっきり大学生活を謳歌してください。

ワクワクを大切に、無理せず、何かを掴み、新入生の皆様の生活が恵みに溢れたものになることを祈っています。

### 大学院生 おいしいメッセージ

ルーテル学院大学院

臨床心理学専攻修士課程2年 星野 諒太

冬の急かされるような日の短さから、春の穏やかな時間が流れます頃、皆様の新生活をこの場を借りてお祝いできることを誇らしく思います。

さて、皆様は入学に当たって、例えば「大学は高校までとは違うから」とか、「大学院は今までと違うから」というような脅しはもう受けられませんか。私はよく受けたものです。ですが、私としては皆様は安心して、適切な自尊心と共に学生生活を歩んでいただきたいと考えております。なので、このような脅しにあまり怖がることなくいていただきたいのです。あと、食事と睡眠は大事です。それと、せっかく人を支援する術を学ぶのですから、自分自身のことも助けて差し上げてください。

それでは、皆様のご活躍をお祈りいたします。

## 九州ルーテル学院と包括的連携協定を締結

事務局長 高瀬 恵治

本年1月、本学院と九州ルーテル学院（熊本市）は、「学校法人間の包括的連携に関する協定」を締結しました。協定内容は、それぞれの法人が持つ使命や教育の特徴を活かしつつ、教育・学術研究・社会貢献等の機能を一層強化し、人材育成の推進と学術研究を高度化することを目的としました。

両法人はルーテル教会に連なる教育機関として、1900

年代初頭よりキリスト教精神に基づき教育事業を展開していますが、従来からルーテル教会に関係する他の学校法人との活動も通じて連携してきました。その中で両法人は、これまでも組織運営に共通する課題等へ対応するため、職員共同研修や役職者間の情報交換、交流があり、協定を結ぶ土壌は既に整えられていたと言えます。

今後、互いの自主自立は尊重しつつ、様々なプログラムの共同構築・実施に向けて、取り組みの加速が期待されます。



## オープンキャンパスのご案内

4月27日（土）

- 12:30 受付
- 13:00 大学紹介
- 13:30 キャンパスツアー
- 14:00 模擬講義「『いのち学』って何？」 石居基夫 教授
- 14:00 模擬講義「ほめて育てよ！自分も相手も大事にできる人間関係の作り方」 高城絵里子 専任講師
- 15:00 入試説明会

個別相談会、在学生相談は14:00～随時受け付けています。

オープンキャンパスのご予約・お問い合わせ 企画広報センター 0422-32-2949 までお気軽にお問い合わせください。

5月25日（土）

- 12:30 受付
- 13:00 大学紹介
- 13:20 入試説明会（新高校3年生、新1・2年生向け）
- 14:00 模擬講義「今、東京の高齢者は！」 金子和夫 教授
- 15:00 模擬講義「自分を困らせる考えと助けてくれる考えって？」（認知行動療法入門） 田副真美 教授

キャンパスツアー 14:00～ 15:00～ 個別相談会、在学生相談は14:00～随時受け付けています。

メールでのお問い合わせ koho@luther.ac.jp



# 「2018年度ソーシャルワーク実習指導実践交流会」を開催しました。

実習主任 高山由美子



本学のソーシャルワーク実習教育では、実習の準備のため、事前学習、実習中のサポート、実習後の振り返りのための事後学習まで、実習施設・機関と大学とが協働して取り組む「包括的実習指導教育システム」を構築しています。この取り組みの一環として年に一度、実習施設・機関の実習指導者をお招きし、本学の実習指導者との「ソーシャルワーク実習指導事前交流会」を開催しています。今年度は、本学が長年実施してきている、実習指導者（実習施設・機関）、学生、実習指導者（大学）の三者の「トライアングル指導」に焦点をあて、「トライアングル指導による実習教育システムの実際」をテーマとして2月15日に開催しました。



参加者からは、「実習生の声はとても貴重だった。」「自分の実習を思い出し、小澤さんほどの振り返りはできていなかった。指導力の高さを感じました。」といった感想をいただきました。実習を通じた学生の気づきと成長は、その後の学びの姿勢や関心の広がりにも大きく影響しています。その事実をあらためて三者で共有することで、それぞれの立場での学びの意義を再確認することができました。今後とも実習施設・機関の指導者のみなさんとのこのような学びと交流の機会を大切にしていきたいと思っています。

福祉法人ときわ会、学生の小澤満喜さん（子ども支援コース4年生）、実習指導者の浅野貴博

## 教員と学外指導者とのトライアングル指導



実習前教育（大学内）  
習施設・機関の指導者のみなさんとのこのような学びと交流の機会を大切にしてほしいと思っています。

# 入学前スクーリング、合格者の集い

准教授 上村 敏文

AO入試、推薦入試等の合格者を対象に2月21日第二回「入学前スクーリング」を実施しました。その後一般入試の合格者も加えて、市川学長、金子学科長、各コース主任を中心に多くの教職員も合流して「合格者の集い」を行いました。



入学前スクーリングでは、第一回目の課題の添削を返却、第二回の課題の説明を行いました。出席した53名全員が真剣に課題と向き合い、真摯に課題をまとめてくれたことが何よりも嬉しいことであり、入学に向けての強い気持ちを感じました。しっかりと取り組んだことが答案からひしひしと伝わってきました。添削する側も真剣に一人ひとりの答案に向き合うことができたことは大変貴重な体験でした。「合格者の集い」には、社会人、留学生も含め新たな合格者20名が合流して、合計73名の出席を得て大いに盛り上がりました。当初用意していた席を上回る出席でした。6つのグループに分かれ、教員も加わり、ゲーム感覚で自己紹介を行いました。飲み物やお菓子をいただきながら、会が始まる時の不安や緊張していた空気が一気に打ち解けて、帰る頃には4月の再会を楽しみに名残惜しく帰路につく姿が印象的でした。参加した皆さんに感謝したいと思います。

# 卒業式報告

チャプレン 河田 優



3月8日（金）、前日の雨が嘘のような快晴。本学のチャペルで2018年度ルーテル学院大学・大学院、日本ルーテル神学校の卒業式が執り行われました。卒業したのは、88名の大学生、13名の大学院生、4名の神学生です。

ルーテル学院の卒業式は毎年、礼拝として行われます。本年度もパイオラルガンが奏でられ、大きな賛美の歌声が響く中に卒業生たちは入堂し、共に御言葉を分かち合い、市川学長の説教に耳を傾けました。説教題は「0か



100ではない生き方」です。学長はそれぞれの人には、それぞれに相應しい多様な生き方が与えられており、そのすべてに神様の祝福があることを語り、新たな一歩を踏み出す卒業生たちへの励ましの言葉としました。また、授与式では卒業生一人ひとりの名前が呼ばれ、学長、校長から全員に直接、卒業証書、学位記が手渡されました。一人ひとりを大切にしている教育を続けるルーテル学院で学んだ者たちが、手から手に卒業証書、学位記を受け取り、一人ひとりを大切にしている者として本学を旅立っていきました。卒業生たちのこれからの歩みには、様々な出逢いがあるでしょう。そのすべてに神様の御守りを祈ります。

# ハンドベル・聖歌隊 ジョイントコンサートが行われました。

臨床心理コース2018年度卒業 石橋 七絵

2月23日（土）、日本福音ルーテル東京教会を会場に、ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校聖歌隊とハンドベルクワイア「ラウス・アンジェリカ」のジョイントコンサートが行われました。

22回目の開催となる今回のテーマは「和（融和・調和・平和）」です。

様々な対立により互いを傷つけあう現代のなかで、違いを受け入れ、主にあってひとつとされることを願ってのコンサートでした。

聖歌隊による合唱は、7名という人数で一人ひとりが丁寧に歌い、少人数ならではの綺麗なハーモニーが生まれました。



また、ハンドベルの演奏では、OBOGによって構成される「響」と、現役のラウス・アンジェリカが共にベルを打ち、美しい音色が奏でられました。最後の曲が演奏された後の鳴り止まない拍手の中で、出演者も来場者も神様によって「ひとつ」である喜びと感謝を分かち合いました。

# 学生の声で設置！

専任講師 浅野 貴博



学生からの強い要望により、去る2月にマルチコートにバスケットゴールが設置されました。これまでのマルチコートでは、サッカーやテニスが必要な用途でしたが、バスケットも加わることになりました。バスケットゴールの設置についての学生及び職員の声を一部ご紹介いたします。「これからバスケットができるのが楽しみです」「設置を切望していたので、これからの学生生活を充実させるのに役立てて欲しい」「たくさんシュートを決めたいです」（学生）。「秋のスポーツフェスティバルでもぜひ使って欲しい」（職員）。学生同士の活動がこれまで以上に活発になることはもちろんですが、日ごろ運動不足の教職員の健康増進にも寄与することを願っています。

# 行事予定 4月～6月

- 4月2日(火) 入学式
- 4月3日(水)～8日(月) オリエンテーション
- 4月24日(水) クヌーテン講演会
- 4月27日(土) 受験生対象オープンキャンパス
- 5月中旬 社会福祉実習開始
- 5月25日(土) 受験生対象オープンキャンパス
- 6月5日(水) 学生総会
- 6月9日(日) 受験生対象オープンキャンパス
- 6月29日(土) 保護者の皆さま対象オープンキャンパス